

市政に問う!

一般質問

“議会を傍聴してみませんか”

次の議会は**11月21日**開会予定

手続き簡単!! 本館2階で
住所・氏名などを書くだけ



深町 幸子 議員

大園 市長選挙のマニフェストを示す考えはあるか。次の事項に答弁を。

- ① 新庁舎建設計画があるのか。
- ② 合併推進債の充当と今後の活用の考えは。
- ③ 農業振興は、最も大事だと思うが、農畜産物の南九州ブランド確立への取り組みは。



大園 秀己 議員

市長選挙

市長／前向きに課題解決に取り組む

マニフェストを示せ

④ 集落営農の組織体制づくりについて、具体的な支援策を示せ。

⑤ 観光客の増加に向けた施策は。

⑥ 友好姉妹都市との物産交流を積極的に取り組む考えは。

市長 マニフェストは作成中である。

① 新庁舎計画はないが、現庁舎の耐震補強が必要である。

② 3年間で総額5400万円の借り入れをしている。今後は、財政状況や公債残高に留意しながら判断する。

通学路

安全対策は
その後どうなった
教育長／可能な整備をする



枝豆収穫を無料開放している集落営農組織

③ 生産者の顔の見える販売体制を図りPR活動により銘柄確立を目指す。

④ 認定農業者、新規就農者、集落営農組織などを育成し、耕作放棄地対策・担い手対策・農地流動化対策を一体的に検討

する。

⑤ 新幹線開業で増加傾向にある。新たな観光資源もいくつかあり期待している。

⑥ 今後も民間団体などと協力して友好を深めて行く。

深町 平成23年第1回議会定例会において、児童生徒の安心安全対策のため、通学路の暗い箇所には防犯灯の整備を進める考えはないか質問したがその後の対応を問う。

市民の声を

地域活性化対策

定住促進に向けた総合的な施策は

市長／多種多様な施策を展開する

松久保 正毅 議員
松久保 近年南九州市では、少子化による自然減と、転入者の減少・転出者の増加により人口減少が急速に進行している。市内の中山間地域から市内中心部へ、あるいは市外への人の流れによる過疎化も進行し、地域コミュニティの維持が困難になるなど深刻な問題と



松久保 正毅 議員



下校中の川辺中生徒

市長 まず集落内の危険箇所を優先的に、そして緊急性が高く特に要望が強いところから、年次的に可能な整備を行っていかねばと考えている。

教育長 3月議会では「早急に児童生徒に聞き取りをする」など、的確

な実態把握を行い、日没後の下校時の安全確保に関する意識を高めるとともに、防犯灯設置に関する手続などについて各学校への指導をすると答弁した。その後、中学校を中心に実態調査を行い、集落内の防犯灯について

センターの整備。

定住促進を図るには、

⑤まちづくり事業・集会施設整備費助成。

これまで取り組んできたこれらの施策を連携させ、一体的に実施し、あらゆる角度から多種多様な施策を展開する必要がある。

⑥市民の健康増進に努め、コミュニティバスの運行による日常生活の援助を行う。

市長 南九州市の人口は、過去5年間で3100人減少している。移住定住促進のために6つの施策を掲げている。

- ①企業誘致促進の補助金制度・農業の後継者奨励金制度による就農支援。
- ②住宅団地の分譲や住宅取得補助及び公営住宅の整備による快適な住環境の提供。
- ③特別保育や乳幼児医療費助成年齢の引き上げ。
- ④校舎の耐震補強や給食



住宅取得補助を受けて夢のマイホーム

観光行政

本市めぐりの観光ルートを設定する考えは

市長／バス事業者とも協議検討したい



山下 つきみ 議員

山下 九州新幹線が全線開業し、本市への観光客増を図るべきと考えるが個人客については、中央駅からの交通アクセスが悪く、移動手段の利便性を確保することが望まれる。バス事業者との連携による本市めぐりの観光ルートを設定する考えはないか。

により、個人客が増加する傾向があるが、本市への移動は、交通費や時間の関係で円滑な旅の妨げとなっている。

本市観光めぐりコースの設定は、現在運行している民間の実績に照らしても、費用や需要確保の点で困難かと思うが、実施時期や催行回数、魅力あるコースの設定など、ある程度の条件をクリアできれば、モニターツアーとしての実施は可能と思う。

今後、課題を分析し、バス事業者とも協議しながら、より効果的な事業としての検討をしたい。



望まれる個人観光客への交通アクセス整備

釜蓋神社・番所鼻公園などの整備は

市長／地元と連携し応分の対応を実施

山下 近年、観光客が増加しているが、市としてどう整備するか。

市長 駐車場やトイレ、物販体制、交通アクセスなど、環境整備の必要がある。地元と連携し、施設管理や維持管理、情報発信の観点から、応分の対応を実施したい。

学校安全対策

側溝に蓋版設置を

教育長／各学校からの要望をもとに設置



田畑 浩一郎 議員

田畑 学校内の側溝に蓋版の無い箇所が多く見られるが、児童生徒の安全や学校が災害時の避難場所となることなどを考慮し、蓋版を設置する考えはないか。

教育長 各学校には、多くの側溝があり相当な経費を伴うことから、危険度を考慮し、学校からの要望をもとに設置したい。

市長 避難場所としては、学校管理者、関係者などの意見を考慮して設置したい。

防犯ブザーの点検は
教育長／定期的な点検・指導に努める

田畑 防犯ブザーの携行率を示せ。また壊れたブザーを携行している児童が多く見られるが、点検



整備が待たれる側溝

や指導を行っているか。

教育長 市全体の携行率は65%、また点検については学校間の差異があるが、月ごとや学期ごとに行っている。安全確保のため定期的な点検指導に努める。

田畑 購入方法が違うために携行率が低いと思うが、市で配布する考えはないか。

教育長 今のところ考えていないが、今後は検討したい。

国保事業

税率改正を含め 今後の対策は

市長／慎重に議論を重ねる



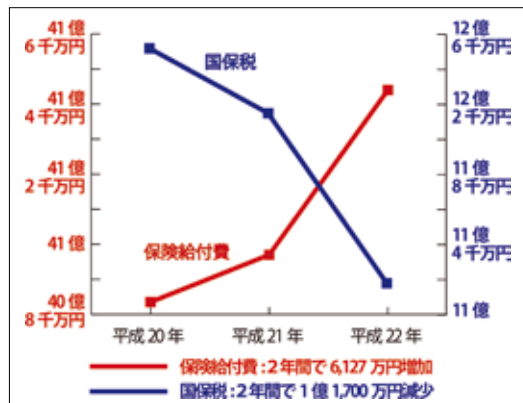
森田 隆志 議員

業の現状や対策について、市民に伝えることが大切であり、事業の方向性について十分な説明が必要である。

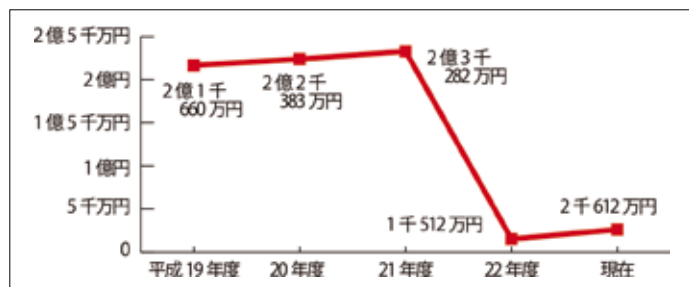
森田 国民健康保険事業の運営は、危機的状況である。平成23年度は、一般会計から、1億3千2百万円の基準外繰入を行っており、このままでは、事業が立ち行かなくなると考える。

条例改正を行い、税の値上げを市民にお願いするか、今回のように一般会計から繰り入れを続けるか、関係各課と議論を重ねて事

業の現状や対策について、市民に伝えることが大切であり、事業の方向性について十分な説明が必要である。



保険給付費と国保税の推移



国保財政調整基金残高

市長 国保事業の必要な経費は、事業の中で賄っていくのが正当だと考える。

今後、医療費の抑制について、いろいろな機会ですべてに注視しながら、ぎりぎりまで努力して、税率改正には、慎重に取り組んでいく。

その他の質問

- ・自治会運営
- ・火葬業務

整備の考えは

教育長／関係課と協議して進める

二松台公園



菊永 忠行 議員

菊永 二松台公園は、ナイターソフトボールリーグやスポーツ少年団活動など、地域住民に広く利用されている。公園内の旧プールは雨水が溜まり、雑木が繁茂しているが、安全面や衛生面から、旧プール撤去を含め整備する考えはないか。

教育長 旧二松中学校プールは、昭和48年7月に建設され、昭和56年3



雑木が繁茂している旧プール

月の学校閉校とともに閉鎖されたもので、約30年近く、手つかずの状態だったと考えられる。今後、排水対策を講じ、埋め戻しを考えている。

その後の活用については、関係課と協議して進めていく。

南部出張所の存続は
市長／合併協議会の
決定を尊重

菊永 市長は、平成20年6月議会、南部出張所は5年以内に廃止すると

市長 南部出張所については、地域バランスも考慮する必要があることから、5年以内に廃止すると決定されている。また、利用実績も年々減少していることから合併協議会の決定を尊重し、予定どおり廃止する方針に変わりはない。

市町村設置型による 処理の検討は

市長／新たな情報を収集して
対応したい



竹迫 毅 議員

竹迫 河川の浄化や地域環境改善のため適正な家庭雑排水の処理が求められるが、今後どのように推進する考えか。

市長 河川などの水質保全を図るためには生活雑排水対策が重要と考える。単独浄化槽から合併浄化槽へ転換する助成拡大などについても検討し、生活環境の保全に努

めたい。

竹迫 人口減などにより、合併浄化槽設置などの個別処理で対応すべきと思うが、設置には個人型と市町村型がある。国・県の補助制度などから、市町村型が有利と思う。合併浄化槽の設置は市内の建設業、水道工事業者でもできる。また、宅内改造などが必要で、大工さん、左官屋さんなどの仕事も増え、地産地消で市内の活性化にもなる。



地元業者による浄化槽設置工事

今後、市町村設置型に取り組む考えはないか。

市長 検討・協議しながら、県などにも問い合わせを行い、アンテナを高くして新たな情報をキャッチし対応したい。

その他の質問

- ・図書館及び学校図書室
- ・校区・地区公民館の使用料の納入方法の改善

学校再編

小中学校の

再編計画は

教育長／「学校のあり方検討委員会」で検討



塗木 弘幸 議員

塗木 新聞記事によると

県内の12自治体では公立小・中学校を再編する計画で108校が閉校の対象となっている。本市においても少子化や過疎化により児童生徒が急激に減少している。「学校のあり方検討委員会」が設置されたが、小・中学校再編計画は立てられていないのか。

教育長 学校は、地域の歴史や文化・伝統とともに地域の中心であり知的財産でもあるので、小規模校も可能な限り存続を図りたいと考える。現在のところ、決して具体的

に明確な統合・再編を前提として考えていないが、いずれその時期がくると考え、今年度から「学校のあり方検討委員会」を立ち上げた。

塗木 小規模校の改修工事に多額の予算が計画されているが、この検討委員会の方向性が決まってから実施するべきではないか。

いては耐震度調査で問題になったところから行っている。市内各小・中学校は社会教育施設、体育施設でもあり統廃合に関係なく進めていく。検討委員会の方向性が示されるまでには、かなりの時間が必要で耐震と整備は、従来の方向で進めていく。

塗木 市長の見解は。

市長 学校は地域の拠点であり、いろいろな思いの場でもあるので存続の要望が多い。また、地震などの災害時は避難所にもなるので、今後の検討委員会で意見を聞く。



国保事業

健全な運営対策は

市長／税率改正も含め慎重に協議を重ねる



蔵元 慎一 議員

国の市町村が抱える問題である。これは、国保制度自体の改革が必要であり九州市長会を通じ国への要望を行っている。

今後は、厳しくなる事業運営に向け、24年度以降、税率改正を行うかどうかを慎重に協議を重ねていく。増加し続ける医療費の抑制については特定健診や各種がん検診などの受診を推奨しながら、長期的に市民の皆様が健康で過ごせるよう取り組み施策を継続していく必要があると考える。

蔵元 近年、特に地方においては、少子高齢化及び長引く経済状況の低迷が、医療費の高騰と税収の減少を招き、国民健康保険事業の運営は急速に悪化している。

本市においても合併後3年間で国保税収は1億1300万円の減収となり、医療費は6127万円の増となっており、国保財政は危機的状況になっている。今後の健全な事業運営に向け、どのような対策を取っていく考えか。

市長 国民健康保険財政のひっ迫した状況は、全



医療費の節約に努めましょう

中福良・上之町間の整備を急げ

市長／整備は必要であり今後検討

歩道整備



東 兼喜 議員

東 幹線市道の歩道整備状況と未整備の実態や今後の整備計画を示せ。

市長 現在の市道歩道設置延長は、1級・2級が2万9804メートル、その他が、1万3473メートルで、歩行安全な交通を確保するために必要な整備で、今後も計画的に進めたい。

東 一級市道永里浮辺線の中福良、上之町間の歩道整備が急務と考えるが見解を問う。

市長 この区間の未整備については、現在実施中の和田戸場間の歩道整備や、和田橋前後の改良工事の進捗を見ながら今後検討する。

予算の範囲内での整備となり、計画に搭載されているからといって、必ず計画どおり実施できるものではない。計画については、毎年見直しを行っている。

東 歩道整備について、自治会、学校関係者からの要望はないか。

教育長 学校には直接要望はあがってこないが、自治会には要望があがっていると思う。

建設部長 実施計画どおり整備していきたいが、

その他の質問
・市道の県道昇格



歩道整備が望まれる永里浮辺線